

アブラナ畑 (埼玉県北本市)



菜の花まつり

北本市景観作物振興会は、広がり続ける遊休農地を活用し、食物にもなる景観作物を育てようと市内の農家ら約50人が声をかけて発足した団体で、現在、会員数は約300人となっています。

見て楽しい「花」、食環境の充実「安心・安全」、環境にやさしい「循環型農業の保持」をキーワードに「菜の花」を景観作物と位置付け、菜種油の採取・販売や菜の花まつりなどイベントを開催しています。環境にやさしい循環型農業の普及をめざし、活動の幅を広げています。

北本市景観作物振興会とはどんな人たち？

発足の目的と主な活動の紹介

子どもたちとの種まき活動のほかに、今年8回目になった「菜の花まつり」の実施、また、「菜の花に舞う ふる里の景観記念切手」、「菜の花日和」祭りの歌CD、「菜たね油」、「菜たね焼酎 景観」「景観ラムネサイダー」などの発売を通し、新しい文化を発信してきました。

私たちはこれからも北本市の観光農業を通し、会員一同、活力あるまちづくりのお役に立てるよう日々努力をしていきます。



※アブラナ科植物の花の総称が「菜の花」です。

北本市景観作物振興会の皆さんと小学生の活動が注目され

北本の菜の花畑が教科書に!

北本市景観作物振興会では小学生の野外体験学習として菜の花の「種まき」活動を行ってきました。土と触れ合うだけでなく、地域の人々と触れ合う中で、絆が深まる教育活動となっています。

子どもたちと始めたこの活動は、教育関係者を通して教育出版社に注目されて、文部科学省検定済教科書(5年生理科)に掲載が決まり、平成27年度より、全国の子どもたちの教材として使用されています。



他にもこんなことをしています



ふるさと四季めぐり -きたもと百景-

ふるさと北本の豊かな景観を形に残し過去から受け継がれた自然と文化を次代に伝えるために発刊。

本書は写真や絵画でふるさと北本の景観を集め、その中に歴史と文化も取り入れ、明治末期に詠われた「石戸八景」・七福神めぐり・祭りの風景などを掲載しています。



菜たね油

市内遊休農地を活用して作られた無添加の菜種油。レシピブック付。彩の国優良ブランド品認定。



菜たね焼酎「景観」

菜種と米麹で作られた焼酎。北本の大地の恵みと香りを届けます。



パッケージに北本市の菜の花と国指定天然記念物である石戸蒲ザクラを掲載したラムネサイダー。

景観ラムネサイダー